

十日町市長 関口 芳史 様

新潟市東区粟山706番地1

社会福祉法人 勇樹会

理事長 中野 勇



使用済み紙おむつ処理機混合試験結果報告書

平成30年9月3日付にてご用命を賜りました混合試験結果を下記のとおりご報告申し上げます。

試験場所：新潟市東区下木戸3-4-1 東処理センター地内

1. 紙おむつ収集 平成30年9月28日（金）～平成30年10月1日（月）

当法人施設から使用済み紙おむつを611.65kg収集する

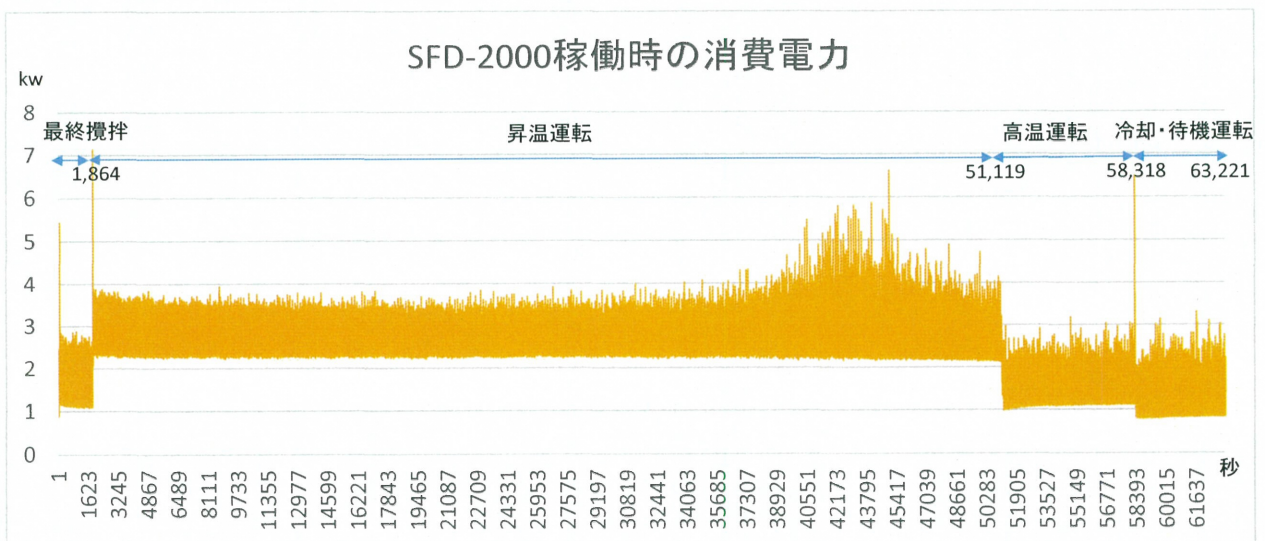
※別紙①混合試験状況写真参照

2. 使用済み紙おむつの燃料化処理 平成30年10月3日（水）～平成30年10月4日（木）

SFD-2000に使用済み紙おむつを611.65kg投入、破碎・乾燥・滅菌処理を行い燃料化する

処理時間 17.56 時間 消費電力 2.78 kw 消費電力量 48.79 kwh

LPガス使用量 23.07 m³



運転モード	最終攪拌	昇温運転	高温運転 (80度)	冷却昇温運転	合計
運転時間	1,864 秒	49,255 秒	7,199 秒	4,903 秒	63,221 秒
	31 分	821 分	120 分	82 分	1,054 分

3. 混合試験 平成30年10月4日（木）

SFD-2000に木くずを投入しフラフ（燃料化処理された紙おむつ）と混合する

※別紙①混合試験状況写真参照

混合材料	フラフ	木くず（通気袋入）	木くず（密閉袋入）	混合後
重量	203.88 kg	78.45 kg	53.75 kg	336.08 kg
含水率	2.53 %	17.50 %	47.60 %	13.61 %

※混合後の含水率は計算による数値です

4. 混合試験結果

(1) 混合後の含水率について

混合後の含水率は測定した数値を基に計算した結果13.61%となった。混合物をペレットに成型する場合の含水率はこれまでの実験から12%前後が最適であった。今回の混合試験で使用した密閉袋に入っていた木くずは含水率が47.6%と非常に高いため混合材料として使用する場合は量の調整が必要と考えられる。

(2) 混合物の混合状態について

混合物の状態は、手作業で混合した場合と変わりのない良好な状態であった。紙おむつ処理機（SFD-2000）によるフラフと木くずの混合は、今回の混合試験から可能であると考えられる。

別紙①混合試験状況写真

平成30年10月2日



使用済み紙おむつ611kg収集

平成30年10月4日



木くずの計量

平成30年10月4日



木くずの計量

平成30年10月4日



木くず投入

平成30年10月4日



SFD2000にてフラフと木くずの混合

平成30年10月4日



SFD2000にてフラフと木くずの混合

平成30年10月4日



SFD2000にてフラフと木くずの混合

平成30年10月4日



SFD2000にてフラフと木くずの混合

平成30年10月4日



SFD2000から混合物の排出

平成30年10月4日



排出後の混合物（紙おむつ6：木くず4）

平成30年10月4日



排出後の混合物（紙おむつ6：木くず4）

平成30年10月4日



混合ペレットのボイラー燃焼試験
（紙おむつ6：木くず2：シュレッダ2）

【十日町市】 使用済み紙おむつ(おが粉混合)ペレット



成形前混合フラフ



成形後混合ペレット